

第2回熊本県立特別支援学校における適切な 指導の在り方等検討委員会概要

- 1 日時：令和2年（2020年）8月7日（金）午後1時30分～午後3時
- 2 会場：県庁新館7階 教育委員会室
- 3 委員：

(1) 学識経験者

熊本大学大学院教授 干川 隆（委員長）

(2) 特別支援学校保護者代表

熊本県特別支援学校PTA連合会前会長 宮村 勇一郎（副委員長）

(3) 特別支援学校長

熊本県特別支援学校長会前会長 中島 徹

(4) その他特別支援教育に関する知識や経験を有する者

社会福祉法人玉医会 統括施設長 金和 史岐子

（第2回検討委員会から委嘱）

4 会議の経過

- (1) 発生した不適切な指導事案について、県教育委員会事務局からの説明
- (2) 事案から見える課題の整理と改善策の検討

5 各委員からの意見及び指摘事項

再発防止に向けた提言のとりまとめに向け、各委員から以下のような意見が出された。

個別の教育支援計画、指導計画により、引継ぎを確実に行うことが必要。

特別支援教育にあたる教員の教科書のようなガイドラインがあればよい。

新しく赴任した教員については、4月の研修に加え、ある程度経験した後にも行う必要がある。

短時間でいいので、子供のことについて話し合う時間を確保し、指導のノウハウを共有してほしい。

寄り添う気に子どもの異変を察知できるよう、どの先生方でも、子供のSOSをキャッチしたときには、素早く、躊躇なく、直接管理職に報告できる仕組みを作ってほしい。

以上のような意見が出され、次回予定されている最終会合で提言案をまとめることとなった。